

事業所名	ゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-14-4 1階
管理者	袴田 将吾
基本情報	定員 20名 現員 26名 男性16名 女性10名 年間平均1日あたり通所者数12.9人 平均年齢45.7歳 就労支援会計売り上げ2,922,505円 平均工賃10,042円
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。
今年度目標と達成度	<p>①コミュニケーション能力の向上 →利用者同士による相談や声掛け、協調が必要な場面を意図的に創出することや、毎月のレクリエーションの時間によりコミュニケーション能力の向上を目指した。</p> <p>②主体的で自立した個々の人間としての成長を目指す。 →1人ひとりの出来る仕事も増え、自発性が活性化。自分の役割に責任を持ち取り組む姿勢が育成されてきている。これにより作業分担を決める会議も有意義なものになってきている。</p> <p>③同一労働同一賃金の現実化を目標に労働の機会を提供する。 →作業の効率化や新たな作業の受注等の取り組みを行った。工賃も向上し、平均工賃月額で初めての1万円を超えた。今後も工賃向上を目指していきたい。</p>
事業内容 就労 支援事業	<p>年間工賃支払い目標額 200万円 (20万円UP) →2,088,740円 (195,740円UP)</p> <p>目標平均工賃月額 10000円 (1000円UP) →10,042円 (1,666円UP)</p> <p>※2022年度は目標水準を達成することが出来た。しかし2023年度は新規利用者を4名受け入れた事、作業日数が減少する見込みであること等から減額となる見込み。</p>
事業内容 年間 行事 余暇活動	<p>4月：入所式 1月：成人・還暦のお祝い 事業所の行事 工賃支給日の〇〇会（散歩、ゲーム、映画等のレクリエーション）</p>
事業内容 日課 と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のラジオ体操から帰りの会まで、時間や状況に合わせた行動を推進した。 ・出席確認や、テーブル拭き等で、相談して決めなければならない環境を作った。 ・周囲への思いやりや遠慮を行う文化の醸成を推進した。 ・一週間の見通しを持てるように支援（弁当注文表、週間予定表など活用）
事業内容 文化 的活動	<p>①2022年のスローガンの掲示 ②アートパラ深川にて絵馬の展示に出品。 ③敷地内花壇での野菜作り実施。 など</p>

事業内容 利用者自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② 朝の打ち合わせ（リーダー）を行い利用者主体の自治を目指す。 ③ メンバー自治会（なかまの会）の組織、定例会議を支援する。（zoom活用） ④ 「何でもやろうかい」の立案・実施（未実施） ⑤ 各種行事实行委員会、メンバー全員が年に1回は実行委員になる（休止中）
事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> ② 希望者には送迎を実施。感染対策に関しては一部緩和。 ③ 給食は実施しない（仕出し弁当を斡旋する） ④ 利用者アンケート→実施せず。個別支援計画面談、会議での話し合いで代替。 ⑥ 利用者健康診断
利用者支援	<p>「コミュニケーション」「自分たちの仕事」を合言葉に日中活動を実施。 →協力をしあえるチームワークの面で大きく成長できた一年であった。</p> <p>「〇〇会」の内容決め等の話し合いの進行を利用者が自分たちで行うことを推奨。 話し合いや集団で行う活動に対する批判的かつ非協力的な姿勢が大きく改善できた。</p>
職員	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のための支援会議を定期的に行う。 ② 経営状況の説明を頻繁かつ丁寧にを行う事に留意し透明性のある経営に注力。 ③ 適宜個別事案に関する話し合いの場を設け支援の方向性の統一を図った。
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新規利用者獲得を目指し、見学及び実習等を積極的かつ優先的に受け入れ。 ② 運営費の圧縮の為、消耗品費、会費、業務委託費等の削減を実施。 ③ 作業所内のレイアウト変更等、過ごしやすい環境に向け整備を進めた。 ④ 法人内他事業所の監査・第三者評価の結果を受け書類面等の整備を進めた。
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<p>苦情4件（内1件…利用者私物紛失について 内3件…送迎関係） ヒヤリハット3件（内2件…転倒の危険 内1件…送迎関係） 事故報告1件（転倒）</p>
職員研修について	<p>4/21 「虐待防止研修（新人対象）」 5/11 「第1回はじめての社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修」 5/18 同上 5/11 「財務マネジメント初級研修」 5/18 「感染拡大予防に関するオンライン研修」 7/ 5 「福祉現場におけるメンタルヘルス」 7/28 「虐待防止委員会虐待防止研修」 11/17 「虐待防止研修（ドライバー対象）」 落選 「令和4年度障害福祉サービス等事業者に対する経営管理研修」</p>
避難訓練・災害対策などについて	<p>BCPの策定を完了。</p> <p>5/19 「消防設備点検・図上訓練」 6/23 「避難訓練（火災）」 11/19 「避難訓練（水災）」 12/2 「消火訓練」</p>
そのほか	<p>職員体制の改善に向け年度末から積極的に求人活動を行った。</p>
まとめ	<p>本年度もコロナ下の為、行事等による交流や活発な活動は行えなかったが、作業所の環境整備や利用者支援の面では、より踏み込んだ実践を行うことが出来た。今後も支援、環境面での充実をもって当施設の付加価値の向上に努めたい。</p>

事業所名	ゆめ工房北砂
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-14-4 2階
管理者	安部 慎太郎
基本情報	定員 25名 現員 26名(3月31日時点) 男性12名 女性14名 ※4月 1名退所 年間平均1日あたり通所者数19.5人 平均年齢37歳 就労支援会計売り上げ4,297,527円 平均工賃12,439円
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する
今年度目標と達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい北砂をつくろう」⇒利用者・職員の自己評価では、「楽しい」と概ね達成 ・目標工賃：8,000円/1ヶ月⇒12,439円/1ヶ月
事業内容 就労 支援事業	<p>○収入3,200,000円を目指す⇒4,297,527円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 紙製品の組立、定期刊行物の発送代行 目標2,150,000円⇒3,098,477円 ・菓子製造業 せんべい、芋けんぴ、あげせん 目標1,000,000円⇒1,032,270円 ・自主製品 エコクラフト(小物入れ、カトラリーケース、福祉大会記念品) 目標50,000円⇒166,780円
事業内容 年間 行事 余暇活動	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修を始めコロナウイルスが収束したら実現したいと考えていた行事の大半は中止 ・ゆめグループ福祉会「入所式」「成人・還暦祝い」@Zoom ・月末、誕生日会 ・月1回レクリエーションの日(散歩、ボウリング、葛西臨海水族館、スカイツリーなど)
事業内容 日課 と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除、朝の会、帰りの会などの内容は計画通りであるが、アルコール消毒など感染予防を組み込み時間の変更を適時行った
事業内容 文化 的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展への出展(きょうされんグッズデザインコンクール、かかしコンクール、障害者作品展など) ・ゆめグループ「軽音サークル」「手話教室」、講師を招いての創作教室は、コロナウイルス感染予防のため中止
事業内容 利用者 自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoomにて「ゆめグループ 利用者組合 定例会」 ・リーダー・サブリーダー・会計担当を選任 三役会議の実施 ・係の設定

事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者には送迎を実施 ・昼食時の買い物支援を行った
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の充実 通所出来ていない利用者宅への訪問、散歩同行 ・必要に応じて通院同行や食事・排泄の補助などした ・経営状態の公開
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施 ・個別面談 ・経営状態の公開 ・月1回 ゆめグループ福祉会職員会議@Zoom ・週1回 ゆめグループ福祉会施設長会議@Zoom
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の健康診断を実施（利用者は保健相談所、職員は診療所と契約） ・手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用の励行 ・作業中は作業に関わることのみ話す ・食事中はパーテーションの利用と話をしないことで飛沫感染を予防 ・施設消毒
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理0件 ・ヒヤリハット0件 ・事故報告1件 ・東京都事故報告 コロナ感染5件（うち1件2022年3月末発症）
職員研修について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の指導力を高めるための研修を実施したが少なかった
避難訓練・災害対策などについて	避難訓練（2回）
そのほか	
まとめ	全ての活動において、コロナウイルス感染・蔓延予防を1番に考えて運営してきた1年間であった。

事業所名	ドリームクラブハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区1-15-8
管理者	藤森 幹朗
基本情報	定員 20名 現員 24名 男性 16名 女性 8名 年間平均1日あたり通所者数 7.4人 平均年齢 46.8歳 就労支援会計売り上げ 456,654円 平均工賃 2,520円/月
基本方針	障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援を行う。 他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活を送れるように支援する。 生活のリズムを大切にしながら、病気とつきあい地域生活を送る事ができるよう支援する。
今年度目標と達成度	事業所の活性化 新規の利用者は7名増えて、その方々は定着している。 利用率は横ばいではあるが、増える傾向。 自主製作品 年度後半から、販売活動を少しずつ行ってきた、売り上げは向上した。
事業内容 就労支援事業	①自主製品製造販売（革製品、編組コースター） ②ネジの箱詰、梱包出荷作業。 ③北一ビル4F行事用資材置き場の管理委託。 ④2022年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらの作業を行なった。また、イベントでの販売活動の中止や自粛が見込まれたので、それに代わる地域に向けた販売企画や宣伝、営業活動を、利用者と一緒に検討して実施した。 ⑤10月アートパラ深川おしゃべりな芸術祭への参加。 （深川白河地区の2か所のCaféでの販売、森下のらくろーど歩行者天国での販売） ⑥ネット通販事業は低迷だが、販売企画などに協賛しながら、継続している。 ⑦東京都福祉トライアルショップ くるみる 定番商品は実績を上げている。 新商品開発なども共同で行っている。
事業内容 年間行事 余暇活動	入所式4月 利用者1名 ZOOMを利用してリモート開催。所内で感染対策を考慮しながら弁当会食、午後から仙台堀公園散歩。 なんでもやろう会 共同募金で購入したホームプロジェクターを使って映画鑑賞。
事業内容 日課と生活	週1回 全フロア清掃日 毎週金曜日 感染状況を考慮して所内でドリーム所内でカフェ。3月ごろより、隔週で、アリオ北砂のフードコートを利用したのコーヒータイム再開。
事業内容 文化的活動	①創作活動(月1回)今年度は講師を派遣していただいて実施。 ②グッズデザインコンクール 1名入選 ③かかし コンクール 資料館通り商店街には出展できず、ソーシャルアートフレンズ展として、11月ギャラリー展を行って、利用者で見学会を開催した。
事業内容 利用者自治活動	① 月曜日午前中のミーティング ② 朝の会, 帰りの会

事業内容 その他	<p>① 宿泊訓練 22年度も中止 ② 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する) ③ 利用者健康診断 12月 ④ 定期PCR検査実施 区補助金</p>
利用者支援	<p>1 元々、平熱の高い方の対応について、家族相談。 2 介護保険ケアマネージャーと利用について相談。 3 前年にひきつづき 増えている支援の必要な高齢の家族と同居されている利用者の対応、相談を継続した。</p>
職員	<p>前年度と同じ職員体制 管理者サービス管理責任者1名 就労支援員1名 生活支援員1名 管理者がGH兼務で、不在でも支障ないように業務分担を工夫したが、年度後半からは、利用者数が増えたこともあり、少ない職員体制で利用者対応や電話対応に四苦八苦した。</p>
事業所の管理運営について	<p>地域活動支援センター、地区担当保健師、就労移行支援事業所などから、新規利用者の紹介を受けて、利用者が増え 目標にしていた、所内の活性化の兆しが見えてきた。</p>
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<p>苦情0件 ヒヤリハット1件 事故報告0件 江東区、東京都へコロナ感染2件報告</p>
職員研修について	<p>東京都工賃アップセミナー（レベルアップ編）基礎編（藤森） オープンダイアログを学ぶ（長岡） アウトリーチ支援研修（前田）</p>
避難訓練・災害対策などについて	<p>避難訓練 12月消火器訓練（前田） 3月荒川河川決壊を想定した、シュミレーションビデオをみながら、 現在 指定された避難場所まで自主避難や避難誘導が可能なのか？避難方法を話し合った。</p>
そのほか	<p>コロナ感染状況について 7月 利用者1名感染 事業所の定期PCR検査で発見。1日閉所して全員の検査を実施。 2月 利用者1名感染 所内に濃厚接触者の該当無しということで、開所した。</p>
まとめ	<p>コロナ感染対策に重点を置きながらも、対策を取りながら販売会の参加などを進めてきた。新規利用者をお迎えして、一緒に作業・生活が出来るように支援した。</p>

事業所名	ネットワークゆめ工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	生活介護・就労継続支援B型
所在地	東京都江東区北砂1-17-4-1階
管理者	富山 悟
基本情報	定員 10名（就労継続支援B型）10名（生活介護） 現員 就労継続支援B型：6名（男性4名 女性2名） 生活介護：13名（男性10名 女性3名） 計20名 年間平均1日あたり通所者数約15人 平均年齢35.9歳 授産会計売り上げ 816,988円 平均工賃（就労継続支援B型）2,990円（生活介護）3,040円
基本方針	障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。 特に障がいの思い利用者に視点をあて生活介護事業を重視する。 障がいの思い利用者の介助について研修し「安全安心」を重視する。 労働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるよう努力する。他の支援機関と協力し一般就労実現のために支援する。 文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を十分発揮できるよう支援する。 生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康と維持増進する為の取り組みを進める。
今年度目標と達成度	『楽しいイベントを増やしたい。思いやりをもって仕事をする。コロナに負けないようにがんばろう！』 通所時に検温・手指消毒や各所の消毒を行っていた。 昼食時にはパーテーションを使用したり、使い捨てエプロン・手袋・フェイスガードを用いて食事介助・水分補給などを行っていた。 まだまだコロナ渦だったり職員不足で外出イベントは行えなかった。 作業中に言い合いになったりすることが多かったので今年度も引き続き改善に取り組む。
事業内容	①アルミ缶リサイクル：近隣の方々から缶を頂いたり、回収に行っています。 ②ポストカード事業：季節のポストカードやオリジナル年賀状を作成しています。 ③陶芸：障害特性に応じた作業方法を取り入れています。 ④プルトップ事業：アルミ缶のプルトップを使用してブローチなどを製作。 ⑤キーホルダー事業：企業様からデザイン依頼を頂き、プラ板に印刷して製作しています・ ⑥請負：カプセルトイや、ぬいぐるみの仕分けと袋詰めを行っています。
年間行事 余暇活動	・入所式（Zoomでつないで） ・全体会（Zoomでつないで） ・ネットワーク内で『なんでもやろう会』を3回行った。（8月・12月・3月） かき氷作り・井ぶり作り・パフェ作りと手作り釣りゲームなどを行った。 ・二十歳の集いと還暦の祝い
日課と生活	コロナ渦なので食事前にはテーブルの消毒やパーテーションのセッティングも行う。黙食を心が得る。 お互いに声掛けしてマスク着用の徹底をする。
文化的活動	①近隣へのアルミ缶回収 ②創作教室実施 ③きょうされんグッズデザインコンクール参加 ④ソーシャルアートフレンズのかかし祭り参加 ⑤東日本大震災復興支援事業『ひまわり活動』参加

利用者自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者自治会組織 月1回リモート開催 今年度は選挙管理委員会と代表演説止まり ②「なんでもやろう会」利用者が主で企画開催
事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> ①希望者には送迎を実施（運転席と乗車席に仕切りを設けるなどコロナ対策を） ②給食は実施していないが数種類のメニューから選べる楽しみを設けている。 ③利用者健康診断（12月） ④新型コロナワクチン巡回接種支援（希望者）
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ①工賃の基準を利用者に分かりやすく説明し理解して頂く。 ②工賃について利用者と毎年話し合い労働への意欲向上を促す。 ③障がい特性に応じて行える作業が異なるので日々作業に選択肢を設けている。 ④お互いの障害を理解できるように話し合いを実施。
職員	<ul style="list-style-type: none"> ①個別支援計画を踏まえて定期的に検討と改善更新を実施。 ②研修情報を提供しスキルアップを目指す。 ③業務担当を決め、業務の効率化と負担軽減を図る。 ④定期的に話し合える場を設け、支援方法を検討したり、悩みや不安を取り除きより良い職場環境を築く。
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ①生活介護事業一本にしていく考えもあるが、現状の敷地ではこれ以上車いす利用者を受け入れる事は安全面・設備面から見ても厳しい状況である。 ②丸山ハイツのバックアップ施設として連携を深めていく。 ③新型コロナウイルス感染症対策で自宅で自粛されている方に対しては電話にて健康確認や状況確認し、通所扱いになる在宅支援を行い財源を確保した。
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	苦情0件 ヒヤリハット0件 事故報告 東京都・区へコロナ感染報告1件
職員研修について	権利擁護・虐待防止研修
避難訓練・災害対策などについて	災害備蓄品の確保とチェックを行った。
そのほか	
まとめ	女性職員の離職や移動が多く、他事業所から応援に来ていただいたり家族会に声掛けして昼食の準備などの賄いのヘルプに入って頂くことで何とか乗り越えられた。引き続きの課題として安定した人員配置と教育に取り組んでいきます。

事業所名	本館 ドリーム第2
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区東砂6-20-7
管理者	田中 直樹
基本情報	定員 20名 現員 20名 男性12名 女性8名 年間平均1日あたり通所者数17.0人 平均年齢38.3歳 就労支援会計売り上げ(前年度)4,485,645円→(今年度)3,550,697円 平均工賃 14,729円
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き生きとした毎日が過ごせるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。 6. 利用者本位の作業で進めていく 7. 何でもやろう会、暑気払い、事業所望年会は3事業所合同で行なう。
今年度目標と達成度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月額平均工賃15,000円→14,729円 未達成 2. 店舗改装→次年度持ち越し。 3. 喫茶年間売上目標600,000円→314,710円 未達成 4. 厨房年間売上目標4,200,000円→2,103,027円 未達成 5. 裏方年間売上目標600,000円→1,132,960円 達成
事業内容 就労 支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しく下請けを始める 2. 地域夕食事業を利用者家族や職員に広げ、収入アップ 3. 喫茶店のメニューを一新。また、デザート部門の強化に努める
事業内容 年間 行事 余暇活動	<p>入所式 初ゆめ会 暑気払い 望年会 なんでもやろう会</p>
事業内容 日課 と生活	<p>万が一陽性者が出たときに備え、速やかに濃厚接触者の割り出しができる様に昼食の座席を指定する 手洗い、うがいの徹底 毎日朝会時に体調チェック、検温実施</p>
事業内容 文化 的活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. きょうされんグッズデザインコンクール 2. 上野動物公園 3. 国立科学博物館
事業内容 利用者 自治活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. メンバー自治会の組織 第二金曜日ズームで開催 困っていること 2. 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画 3. 帰りの会のひとこと

事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> 1. 宿泊訓練 中止 2. 希望者には送迎を実施 感染対策 3. 利用者健康診断 11月
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> 1. 作業班を3班に分け、様々な作業を提供。希望会有ればその都度実習を行い、異動も可能 ※2021年度作業所内での班の異動者あり。 2. 毎月工賃支給日に1か月の振り返りを行い、翌月の目標と一緒に確認する 3. 毎月各班の売り上げも確認し、売り上げに応じた時給を報告し、全体で振り返りを行っている
職員	<ul style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。5月、11月に実施 2. 職員の指導力を高めるための研修を実施、虐待防止など 3. 職員との個別面談 年度末に実施 4. 日々の支援での相談などが行いやすい環境づくり
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> 1. より良い支援を目指すため、職員に施設の制度などを説明 2. 車いす利用者がすれ違えるほどに整理整頓を実施
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	苦情0件 ヒヤリハット0件
職員研修について	年1～2回実施
避難訓練・災害対策などについて	
そのほか	同居家族で陽性者が出たため、すぐに利用者、家族に知らせ、縮小開所を実施。また、その際家で対応できない利用者に関しては作業所にて対応。
まとめ	コロナ禍も3年目になり、年度後半には外出作業所近辺に限らず、遠出もするようになった。次年度はさらに作業も含め、積極的に活動していくことを考えています。

事業所名	ドリーム第2 分室ドリーム第3	
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会	
事象の種類	就労継続支援B型	
所在地	東京都江東区北砂4-40-9 上地ビル1F	
管理者	田中 直樹	
基本情報	定員 10名 現員 15名 男性8名 女性7名 年間平均1日あたり通所者数12.8人 平均年齢39.5歳 22歳～85歳 就労支援会計売り上げ2,929,768円 平均工賃10,213円	
基本方針	障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。 他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。	
今年度目標と達成度	①利用者一人一人が働きたいと思える場所作り ⇒2022年4月現在登録、16名まで増やすことができた。 ②店舗型のお店『Caféくれよん』のオープン ⇒新型コロナウイルス感染拡大の為、オープンさせることができなかった。 1年間、毎日料理の研究をしてメニューがいくつか完成した。 ③コロナ禍でもできる楽しいことを探す ⇒1. スモールワールズ東京 2. 元職員が越谷でキャンディショップをオープン。みんなで遊びに行く 3. 国立科学博物館 ④安定した収入を考える ⇒毎日、利用者が来たいと思えるような雰囲気作りを心掛け、1日平均通所率を9割程にすることができた。 ⑤地域との繋がりを大切にする ⇒木場公園KIBACOとの関わり等	
事業内容 就労支援事業	①昼食作り コロナ禍でカフェのオープンをすることが難しかった。毎日の昼食作りを通して料理技術の向上、メニューの開発を行った。結果、【ハンバーグ】、【カレーライス】、【タコライス】を開発できた。 ②るーくる るーくるへの商品搬入を目指していたが、コロナ禍で行うことができなかった。 ③地域の企業と商品開発 木場公園KIBACOにてパウンドケーキ、イチゴプリンなどを共同開発	
事業内容 年間行事 余暇活動	2022年4月1日(木) 入所式(ZOOM) 2022年5月6日(金) きょうされん東京大会(ZOOM) 2023年2月10日(金) 越谷Mr CANDYへ 2023年2月24日(金) 国立科学博物館 2023年3月10日(金) 木場公園KIBACOへ	
事業内容 日課と生活	①朝の会、昼の会、帰りの会 ②検温、爪切りチェック ③毎週のPCR検査 ④店内清掃	
事業内容 文化的活動	2022年度は実績無し	
事業内容 利用者自治活動	2022年度は実績無し	
事業内容 その他	① 宿泊訓練 中止 ② 希望者には送迎を実施 感染対策	

利用者支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者主体 2. 支えあう雰囲気作り 3. 医学モデルではなく、社会モデルでの考えに基づき、利用者ひとりひとりの作業面、対人面、生活面等での障害になっている事を考え、ひとりひとりに合わせた支援を行う。 4. 障害の重い、軽い、種別等で様々な面で諦めることをしない。 5. 地域に根付いた活動をしていく。
職員	<p>【立場が人を育てる】</p> <p>職員の成長に力を入れた1年でした。</p> <p>日頃仲間達と接することや研修等から学ぶ事が主ではありますが、職員一人一人に将来的なビジョンを考え、日常の声掛けも一つ一つ大切にしました。</p>
事業所の管理運営について	<p>境環境整備を進める。整理整頓。パーティションの活用による集中できる環境づくり。</p> <p>① 高齢障害者中心の事業所か多年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークつくりに向けて方向を考える。介護保険とのネットワークを使った支援を実施した</p> <p>② 職員の仕事マニュアルづくり→できず</p> <p>③ 作業所の中期計画案づくり→できず</p> <p>④ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア 年限をこえて実施中。</p>
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<p>苦情0件 ヒヤリハット0件 事故報告 東京都へコロナ感染5件</p>
職員研修について	
避難訓練・災害対策などについて	<p>3事業所合同でオンラインで避難訓練を実施</p>
そのほか	<p>特になし</p>
まとめ	<p>コロナに振り回された1年でした。楽しい事は我慢して、一人一人の距離感を取り、マスクで表情が見え辛い。次の日の予定を組んでも感染者や濃厚接触者が出て、事業所を閉所。そんな中でも笑顔の絶えない作業所でした。そこにいる仲間や職員に感謝の1年でした。</p>

事業所名	リサイクル工房サラエ
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区東砂5-16-3-1F
管理者	田中 直樹
基本情報	令和4年度 利用開始者 男性0名 女性 0名 令和4年度度 利用終了者 男性0名 女性 1名 2023年3月31日現在 男性7名 女性 4名 計11名在籍
基本方針	1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していけるようにする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし生き生きとした毎日が過ごせるようにする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力して一般就労に向けて支援する。
今年度目標と達成度	①サラエの目標「仕事も遊びも楽しんで！たくさん笑おう」 お互いの障害について理解することを意識し、衝突が起きてしまった際には話し合いや意見交換をするなどの時間を作った。目の前の仕事を大切に、何事にもチャレンジの気持ちを持って取り組んだ。 ②工賃確保のために下請け作業に力を入れた 請作業売上令和3年度下請売上を大幅に超えることが出来た。 令和4年度下請売上総額（印刷以外） ¥1,142,705（前年度より約32万円アップ） ③仕事以外の時間作りにも力を入れ、1ヶ月に1回程度の開催ができた。 「仕事しないday」として称して調理実習や小規模の外出も実施できた。また、本館分室合同での外出も行うことができた。
事業内容 支援事業	・下請作業 バスソルト事業が少しずつ好転し売上が戻ってきた。東栄社の教材封入作業は2年目となり、作業効率がアップしたことで売上が増えた。 ①株式会社スパイスマインド：バスソルト作成作業→売上：357,727円 ②株式会社フロムケア：電動自転車部品清掃、部品交換作業等 →売上：201,730円 ③株式会社東栄社：学校教材封入作業→売上：469,795円 ④その他の作業代等：物品販売や印刷作業代など→113,453円 下請け作業売上合計1,142,705円 下請作業令和2年度売上：819,822円 ・リサイクルショップ運営 コロナ禍により、ショップの開店はできなかった。 開店に向けて店内整理を継続しておこなっていく。→売上：0円 リサイクルショップショップ令和3年度売上：0円 ・印刷業 コロナ禍から少しずつ回復し、大規模イベントやシンポジウム等が開催されたこともあり、印刷依頼も少しずつ上向いてきた。新規の顧客開拓を進めることができなかったため、次年度の課題とする。 →売上：5,993,256円 印刷業令和3年度売上：1,514,446円
事業内容 年間行事 余暇活動	4月：入所式 7月：何でもやろう会「かき氷クラブ@お台場ドライブ&コメダ珈琲でかき氷」 8月：納涼会@手作りアイスとデリバリーランチ 9月：芸術の時間 11月：何でもやろう会「魚の日@葛西臨海水族園&スシローランチ」 12月：本館分室合同 スモールワールズ&キバコにおでかけ 1月：初詣 2月：本館分室合同 上野国立博物館 3月：お花見
事業内容 と生活 日課	① 各班毎に朝の会 ② 朝のラジオ体操 ③ 昼食後の歯磨き（全員）・散歩 ④ 仕事終わりに全体での帰りの会（仕事の振り返り）

事業内容 文化的活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動かかし展に参加（9月 深川資料館通り展示） ② 作品展への出展 きょうされんグッズデザインコンクール 障害者作品展
事業内容 利用者自治活動	<ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 ④ 各種行事実行委員会 話し合いのスキルアップ、ルールの明確化
事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練 中止 ② 希望者には送迎を実施 感染対策 ③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する) ④ 利用者健康診断 1月
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価 ② 利用者・職員に対するアンケートの実施→外出への要望 ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開→訓練費の話、工賃の話 ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施→できなかった ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。
職員	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。 ② セルフプランなどによるサービス等利用計画への対応、特定計画相談支援事業所との連携介護保険ケアマネ、権利擁護など実施 ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施、行動障害など ④ 職員との個別面談 ⑤ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるよう配慮した
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境整備を進める。作業スペースの確保、整理整頓。 これまで店舗部分は作業スペースにしていなかったが、整理と片付けを行い、作業ができるスペースを作った。密にならず作業ができるようになり、作業の振り分けもできるようになったため、効率が上がった。 ② 在宅支援者への対応 通所コロナを理由に通所できていなかった利用者さんが少しでも安心して通所できるよう、送迎使用の提案を行い通所の再開が出来た。
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	苦情0件 ヒヤリハット0件 事故報告 東京都へコロナ感染2件
職員研修について	ズームでの研修参加を行った。
避難訓練・災害対策などについて	火災を想定した避難訓練を実施。11月
そのほか	7月、8月に家族内感染により新型コロナウイルス感染者あり。 手洗い、消毒、換気の徹底を行い、サーキュレーターと空気清浄機の併用を続けている。昼食時にはどの席に座っていたかわかるよう記録している。
まとめ	店舗の開店はできなかった。次年度には店舗の整理を行い、開店を目標にしたい。 昨年度から始めた教材封入の仕事も2年目となり、経験やコツをつかんだことで作業効率が上がり売り上げアップにつながった。 コロナ禍から少しづつ日常を取り戻しながら、その時にできる最大限の仕事をする事ができた1年だったように感じる。 外出行事の際の利用者の表情がとても印象的で、職員のモチベーションアップにもなった。

事業所名	ふれあい工房
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	就労継続支援B型
所在地	東京都江東区千石2-2-5
管理者	緑川 亮介
基本情報	定員 20名 現員 23名 男性 8名 女性15名 年間平均1日あたり通所者数13.6人 平均年齢39.3歳 就労支援会計売り上げ3,359,215円 平均工賃10,002円
基本方針	障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。 他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 集団を基礎とした人間関係を中心に置き作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。
今年度目標と達成度	利用者を増やし、売上（収入）を増やすことを一つ、大きな目標にしていた。前年度がかなりの収入減だったが、22年度はそれなりに売り上げを伸ばせた。だが、まだ、不足していることが多くあるため、これからも引き続き行う。
事業内容 就労支援事業	天然酵母のパン、こだわりのランチなど、利用者と企画を練り、進めてきたメニューをコロナの中、できるだけ販路を作り、売上を伸ばした。るーくるや企業などにプッシュし、販売会にこぎつけた。また、下請けを食欲に受け、大きな収入源と共に、利用者の仕事作りという点でも利のあるものとなっている。
事業内容 年間行事 余暇活動	入所式、運動の日（木場公園やスポーツ会館にてボールなど使用）、なんでもやろう会（江の島）、年末のお疲れ様会。 夏は企画していたがコロナの陽性者があり、中止。
事業内容 日課と生活	塩素消毒はしっかりと根付いている。しかし、年度の後半から、少し、気が緩み始めた感じはある。
事業内容 文化的活動	案山子作りは出展内容などが解りにくかったため制作せず。 映画鑑賞を2度行う。
事業内容 利用者自治活動	特に活動はなかった。

事業内容 その他	宿泊訓練は中止。送迎は施行している。
利用者支援	利用者のストレングスを最大限活かし、職員はそのバックアップと、会話などは交通整理をできるような支援を行うよう心掛けている。
職員	夕方の時間は本日あったことの報告会。時間を取っているというわけではないが、あったことを世間話のように気軽に話し合う。その中で生まれる支援の形もとても大事なので活かしている。ただ、記録や書面にしていないので、それをしっかり記録に残すこと、どう計画し支援していくことが、今後の課題。
事業所の管理運営について	職員の共通の目標というものつくろうと思ったができません。個別支援計画が頓挫していること多く、その整備を行った。
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	苦情 2 件 ヒヤリハット 1 件 事故報告 1 件 コロナ感染 4 件
職員研修について	サービス管理責任者の研修 リーダー層の会計研修が1回
避難訓練・災害対策などについて	2回実施している。
そのほか	
まとめ	毎日、その日暮らしのような1年。計画も目標も絵に描いた餅で、全くその道を歩いていない。目標を目指せるものにはなくてはならないと切に感じた1年であり、職員間でもじっくりとその目標を共通して決められるようにしたい。

事業所名	ユニット ひだまり第3、ひだまり第4、ひだまり第5
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	共同生活援助
所在地	ひだまり第3 江東区大島3-25-5
	ひだまり第4 江東区東砂3-7-11 2、3F
	ひだまり第5 江東区東砂6-1-15
管理者	田中 直樹（7月31日まで） 柳 春夫（8月1日から）
基本情報	ひだまり第3 定員5名 現員男性5名、平均年齢60才、平均利用者数4.2人
	ひだまり第4 定員5名 現員男性5名、平均年齢37才、平均利用者数5.0人
	ひだまり第5 定員3名 現員男性3名、平均年齢42才、平均利用者数2.5人
基本方針	<p>①利用者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る。</p> <p>②利用者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を送れるよう配慮し支援する。</p> <p>③心身の健康管理に留意する。</p> <p>④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用する。（必要な手続きを進める）</p>
事業の内容	<p>①利用者の健康に配慮した食事を提供する。</p> <p>・ひだまり第4は料理担当職員(パート)を朝、夜と配置し施設内で調理。ひだまり第3、第5は夕食はグループ内の事業所で調理した給食を利用。朝食は各施設内で調理した。食事の提供は平日のみ。</p> <p>②健康管理に配慮する。</p> <p>・健康診断はパート職員を含め必要な者全員が受診している。(利用者は通所事業所で実施)</p> <p>・コロナ感染予防については検温、マスク、手洗、換気等基本的な取り組みをおこなった。食事も居室や離れて摂るようにした。PCR検査については週1回を原則に実施した。(ゆめグループはGH利用者はGHで実施することになっている) 通所先で陽性者が発生するなどでも自主的に欠席することもあったがその場合職員の負担が大きかった。</p> <p>・通院に支援が必要な利用者については世話人、生活支援員が対応したが通院同行を利用することもあった。</p>
	<p>③入浴、排せつ、部屋の整理、洗濯等を支援する。</p> <p>(ひだまり第5利用者は基本的に自立しており、独力で行うことを奨めている)</p> <p>・入浴介助が必要な利用者については男性職員が対応。</p> <p>・部屋の掃除が一人では困難な方は職員と一緒にいった。</p>
	<p>④余暇活動の支援</p> <p>・コロナ禍により利用者の活動が制限されていたが土日に近場の外出を用意した。また、晴れた日には荒川沿いを散歩に行った。</p>
	<p>⑤金銭管理の援助</p> <p>・各GHに金銭管理の支援が必要な利用者がある。支援の方法は利用者それぞれであるが、万が一にも間違いが無いように依頼書の確認や記帳や金銭の保管に注意している。</p> <p>・買い物の支援も行った。</p>
	<p>⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する</p> <p>・寮会議の定期的な実施ができなかった。ひだまり第5では日曜日に「週の振り返り」を支援員と利用者で行ってきた。開所から短い期間だったが利用者相互の理解や職員の利用者理解に役立っている。</p>
防災訓練	ひだまり第3、第4、第5ともにコロナウィルス感染拡大予防の為、避難訓練は行えなわなかった。

まとめ	<p>9月に待望のひだまり第5がスタートした。関連して職員体制の整備が必要になった(都からの指導があった)。管理者の変更、生活支援員配置など「大変」な整備だった。そうした中でひだまり第3とひだまり第5の欠員各1名が1月に埋まり、利用定員いっぱいの13名で新年度を迎えることができた。よかったよかったデス。</p> <p>ひだまり第3の朝食担当のパートさんがナカナカ決まらず、常勤のKさんやドリームの所長さんに大きな負担をかけてしまった。新しいパートMさん、いぶきのTさんの参加でどうやら「安定」できた新年度ですが事業計画で触れたように新しい管理者への移行や世話人の育成が強く求められている。</p>
-----	---

事業所名	丸山ハイツ・東砂ハウス
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	共同生活援助
所在地	1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7
管理者	中村 幸江
基本情報	定員 5名 丸山ハイツ 7名 東砂ハウス
基本方針	精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。
事業内容生活訓練	生活のリズムの調整。洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導や介助。 炊事や栄養面での助言。 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 各居室の掃除、整理整頓の指導。ゴミ出しやトイレ、浴室の掃除など、 当番の声掛け金銭管理の指導。共有スペースなどの利用ルールの順守。
事業内容 日中活動支援	日中活動として利用している関係機関との連携。 まだ日中活動の場を持たない人には、通所施設の紹介、見学同行。
事業内容 相談支援	計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン。状態悪化時や、不安時の相談。 GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。夜間などの電話相談。
事業内容 日課と生活	①低カロリーでバランスがとれた夕食提供（タイヘイを利用） ②必要な方へ入浴介助等を行う ③夜間支援体制を確立し、急な体調不良、地震等へ対応（東砂ハウス）
事業内容 文化的活動	
事業内容 利用者自治活動	

事業内容 その他	<p>食事の提供 丸山ハイツ 夕食（月から金） 東砂ハウス 夕食（日から金）朝食（月から土） 必要に応じて、通院同行。障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。</p>
健康管理	<p>年1回の健康診断を実施する（江東区で実施）。顧問医との面談を定期的実施する。</p>
職員	<p>管理者 中村幸江 サービス管理責任者 川西 弘晃 世話人 鈴木 豊子、太田 真理子、小山 素子</p>
その他	<p>個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など 寮費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。 新任職員の研修に力を入れる。</p>
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<p>特になし</p>
職員研修について	<p>社内研修、外部研修（zoom）への参加</p>
避難訓練・災害対策などについて	<p>防災訓練を実施。</p>
そのほか	<p>コロナ禍で行えていなかった寮会議を10月から再開した PCR検査を月2回行った 職員、利用者が1名ずつコロナ陽性になった（丸山ハイツ）</p>
まとめ	<p>各部屋の空き期間をできるだけ減らすために、障害の枠を超えた入居者を増やした。 夜間支援体制を確立。発達障害、知的障害との重複障害の対応を強化。 退去が難しかった方の生活支援を重点的に行い、関係者会議を経て一人暮らしに繋げることができた。</p>

事業所名	いぶき寮
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	共同生活援助（介護サービス包括型）
所在地	東京都江東区枝川1-8-15-904、714
管理者	田中 篤子
基本情報	定員 5名 現員 5名 男性3名（714号室） 女性2名（904号室） コロナ禍であったこと、外泊先であるご家族の高齢化に伴い、外泊する方は少なかった。
基本方針	知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。
今年度目標と達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。 ・利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 ・地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。 ⇒上記を心がけ運営した。概ね達成。
事業内容 就労支援事業	区就労支援センター、木場職業安定所、就労移行支援事業所学び舎と連携しコミュニケーションに問題のある寮生を支援してもらい就職につなげることができた。
事業内容 年間行事 余暇活動	・6月、10月誕生日会
事業内容 日課と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮した必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行った ・利用者の身体の状態・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行った ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行った
事業内容 文化的活動	・余暇活動等の支援：外出先・外出時間の相談を随時受け、必要に応じて職員同行した
事業内容 利用者自治活動	コロナ禍の影響下で寮会議を十分に出来ず、個人的なことが主になりがちであった。何か問題があったときは、話し合い自分たちで決めて行動に移せるように情報提供や支援を心がけた。

事業内容 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者日中活動先と必要に応じて連絡・調整を行い、利用者の活動を支援した ・利用者と家族間の連絡調整を行った
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けて金銭管理の自立が出来るように支援した ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して助言を行った
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施 ・業務の引き継ぎと職員間のコミュニケーションのため業務日誌、利用者個人記録の他に「引き継ぎノート」を利用
事業所の管理運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとった。 ・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとった。
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	苦情1件（音がうるさい。どのような音なのか不明）ヒヤリハット0件 事故報告 東京都・江東区へコロナ感染1件
職員研修について	強度行動障害の研修を受講した。
避難訓練・災害対策などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・9月と3月 防災・持ち物検査と使用方法、避難訓練を実地する。 ⇒9月28日（木）地震。二次避難、119番通報訓練。3/22日（水）火災。初期消火の訓練。車イス怪我人いると想定し119番通報訓練、避難サポートの救助を求める訓練
そのほか	
まとめ	全ての活動において、今年度もコロナウイルス感染・蔓延予防を1番に考えて運営してきた1年間であった。

事業所名	ゆめ相談支援事業所
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	特定相談支援事業所
所在地	東京都江東区北砂1-14-4
管理者	岡田 芳久
基本情報	相談支援利用者数 計画相談 64件 (年間) モニタリング 117件 (年間) 非常勤 2名 常勤換算 1.2名
基本方針	利用者の自己決定を支援していく
今年度目標と達成度	法人内の利用者の計画相談を増やす。 セルフプランの方の計画相談切り替えを増やす。
事業内容 就労支援事業	
事業内容 年間行事 余暇活動	
事業内容 日課と生活	
事業内容 文化的活動	
事業内容 利用者自治活動	

事業内容 その他	
利用者支援	
職員	
事業所の管理運営について	
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	
職員研修について	東社協研修
避難訓練・災害対策などについて	
そのほか	対面での面接再開
まとめ	相談支援としての意見を求められる場面が増えておりより専門性を身に付けていく必要がある。

事業所名	地域交流支援センター
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	重度訪問介護 居宅介護 移動支援 同行援護
所在地	東京都江東区1-15-8
管理者	岡田芳久
基本情報	重度訪問介護 のべ 11回(利用者死去により減少) 居宅介護 495回 同行援護44回
基本方針	利用者中心の生活支援。 緊急に必要時に動ける体制
今年度目標と達成度	通院介助に力点をおく。
事業内容 就労支援事業	居宅介護など
事業内容 年間行事 余暇活動	
事業内容 日課と生活	
事業内容 文化的活動	
事業内容 利用者自治活動	

事業内容 その他	
利用者支援	
職員	区型グループホームの問題 新型コロナ下での介護の困難
事業所の管理運営について	
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	
職員研修について	
避難訓練・災害対策などについて	
そのほか	コロナ感染状況により、移動支援は必要不可欠なものに限定させていただいた。余暇活動などへの移動支援はできなかった。
まとめ	複数事業所間をまたいでの支援を職員が行っていたので、感染状況によってサービスが中止になったり提供を自粛した期間がかなりあった。

事業所名	生活寮ひだまり
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	江東区心身障害者生活寮運営費助成事業
所在地	東京都江東区東砂 8-19-7
管理者	中村 幸江
基本情報	定員 4名 現員 4名 男性3名 女性1名
基本方針	障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。
今年度目標と達成度	<p>(1) 入居者の自主性を尊重し、個人の尊厳、プライバシーを守る。 →守るよう配慮した。</p> <p>(2) 入居者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、入居者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。 →コロナ禍で困難な事が多かったが、可能な限り対応した。</p> <p>(3) 地域社会との交流を深め、関連する障害者団体との連携をはかる。 →地域の方々との挨拶は大切にしてきた。</p>
事業内容	<p>(1) 健康管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 (毎朝、検温・血圧を計測する) 必要がある場合は、医療機関への通院を支援する。 感染予防のため、手拭き用ペーパータオルを用意する。 <p>風呂マット、手拭きタオルを個別に分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 週1回、居室、共同スペースを全員で清掃する。寝具等の大物洗濯、乾燥を支援する。 <p>(2) 健康に配慮した食事の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の身体の状態・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供する。(平日：朝食(賄い)、夕食(ドリーム第2の配食) 土日祝日：夕食(弁当) ※コロナ感染予防中は、各自室で食事を摂る <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介助</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介助を行う。 <p>(4) 日中活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、入居者の活動を支援する。 <p>(5) 余暇活動等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 休日や余暇時には入居者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援する。 コロナ禍で外出制限が多い為、天気の良い週末は全員で散歩等の外出を企画する。 外出しなくても室内で楽しめるゲーム等購入して、皆さんで楽しみたい。 <p>(6) 相談・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応し、相談の場を設け助言する。 <p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立生活に向けて金銭管理が自分のできるように支援する。 <p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者と家族間の連絡調整を行う。
事業内容 年間行事 余暇活動	<p>誕生日会(個室での食事ではあったが、当事者の食べたい物でお祝いした。 ゲームの日2回(リビングのテレビを使い全員でゲームをした) 日帰りお出かけ 3月運転手付きの車を借りて、横浜へ遊びに行った。 土日はなるべく買い物や図書館へ散歩に出かけた。</p>
事業内容 日課と生活	

事業内容 文化的活動	
事業内容 利用者自治活動	
事業内容 その他	
利用者支援	必要な方への金銭管理および買い物支援 個人宛に来た書類等の支援 家族との連絡を仲介
職員	①ケース記録、業務日誌の記録をPCで行っている。 ②孤立しないように、連絡を密にとるよう心がけた。 ③希望日に休めるように配慮した。
事業所の管理運営について	
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	
職員研修について	zoomで虐待防止研修に参加
避難訓練・災害対策などについて	非常持ち出し袋の中身の確認をした（古くなった物を食べて、新しい物を追加）
そのほか	
まとめ	土日の過ごし方として、なるべく意識して散歩等するようにしていたが、「あそこに行きたい」「あれを食べに行きたい」等の要望には、なかなかこたえられなかった。 3月に赤い羽根共同募金を利用して企画した「日帰りお出かけ」を皆さんが本当に楽しみにしてくれた。ずっと我慢していたイベントだったので、思い切って取り組んで良かった。

事業所名	生活寮ひだまり第2
運営法人	社会福祉法人 ゆめグループ福祉会
事象の種類	心身障害者生活寮（江東区心身障害者生活寮運営助成事業）
所在地	東京都江東区大島3-25-5
管理者	名取 竜太
基本情報	定員 5名 現員 5名 男性5名 女性0名 年間平均1日あたり利用者数=5人 平均年齢57歳
基本方針	①障害のある人々が地域で自立した生活を送ることができるよう生活の場を確保・提供する。 ②提供された生活の場を活用し自立と社会参加に積極的に取り組めるよう支援する。 ③可能な限り個々のニーズに応じた支援を適切かつ安全に行う。 ④地域社会との交流に努めるとともに関連する障がい者団体との連携を図る。
今年度目標と達成度	①健康管理とそのための支援 特にコロナ感染予防に留意し手指の消毒、マスクの着用、三密予防等に勤める。PCR検査、ワクチン接種に積極的に取り組む。→区の援助を受け2週に一回のPCR検査を全員実施できた。（通所事業所で行っている用者を除く）ワクチンは年度内に全員3回接種した。 利用者の健康に配慮した食事の提供→夕食は平日はドリーム第2の給食で賄う。朝食は火曜日の朝から土曜日の朝は宿直勤務の職員により調理される。栄養面に出来る限り配慮している。休日の食事は、利用者それぞれで購入している。 通院の援助→必要な場合通院に付添、薬の受け取りを行った。勤務時間の調整が課題になっている。 ②日中活動への援助・事業所との連携を重視する 利用者は日中は一般企業、生活介護事業所、B型事業所の4事業所に通っており、運営も4法人となっている。日常的には情報交換も充分でなかったが時間の許す限り保護者会などにも出席するようしてきた。今後、成年後見人さん（2名が利用している）との連携協力も含め日中活動事業所や、ご家族の方々との関係を強化したい。
事業内容 就労支援事業	
事業内容 年間行事 余暇活動	恒例の生活寮・グループホームのお花見は今年も中止になった。 お誕生会利用者の誕生月に夕食時に密に注意しながら実施した。 日中活動の事業所が行った諸行事にひだまり2は参加できなかった。
年間行事 余暇活動	恒例の生活寮・グループホームのお花見は今年も中止になった。 お誕生会利用者の誕生月に夕食時に密に注意しながら実施した。 日中活動の事業所が行った諸行事にひだまり2は参加できなかった。
職員	来年度より、宿直勤務をなくしていく方針で決まる。 ただ、いつそれが始まるかは具体的な目処は今のところ立っていない。 他法人等に色々と探してはいるものの、結論はまだ出ていない。 今はまだ宿直勤務を続け、24時間勤務体制をとっている。 なお1人退職者が出たため、2人で2日勤務2日休日体制を敷いている。

事業所の管理運営について	<p>法内施設（グループホーム）への移行は全く進展がなかった。現施設での意向は難しく、新たな車椅子対応の施設をつくるためにはしっかりした計画を持つ必要がある。</p> <p>老朽化した設備等は多くの修理が必要になっている。適切な対応をすすめる必要がある。</p> <p>グループホーム職員ミーティングが二月一回行われ、当日勤務の職員が参加している。こうした機会は貴重だと思う。</p>
苦情処理・ヒヤリハット・事故報告について	<p>大きな問題はなかった。加齢などで一層の丁寧な支援が求められていることを常に留意し当人・家族等と友好的関係をつくっていききたい。</p>
職員研修について	<p>新型コロナの影響により、研修自体が数少なくなってしまった。</p> <p>リモート形式での研修会は江東区主催で何度かあったが、夜間開催のため参加できない。</p>
避難訓練・災害対策などについて	<p>江東区が提案した社会福祉施設等避難計画(対象災害：水害（洪水 内水 高潮）)の相談会に出席し、計画を作成し区の言提出した。</p>
その他	<p>7月終わりから8月の終わりまで、職員2名、利用者全員の新型コロナ感染があった。</p> <p>職員は自宅、利用者の方々はそれぞれの部屋で待機となった。</p>
まとめ	<p>年度初めになってすぐに職員の補充が確定した。</p> <p>しかし、利用者の1人が誤嚥性肺炎で4月末にお亡くなりになった。</p> <p>半年後の11月より、新たに重度障害の方の入所が決まり、速やかに入寮となった。</p> <p>今年度は宿直勤務をなくしつつも、提供すべきサービスの質を維持していけるよう、どう対応すべきかを考えながら努めていきたい。</p>